

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター							
指定管理者名	株式会社オーエンス				法人番号	5010001039404		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3323	少年科学センター						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室							
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。							
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを目指す。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス			指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	幼児	人	32,420	31,942	31,968	32,527	102%	
	小・中学生	人	28,154	28,281	27,797	27,194	98%	
	高校生	人	750	815	934	965	103%	
	一般	人	45,994	46,276	48,420	48,996	101%	
	計	人	107,318	107,314	109,119	109,682	101%	
							#DIV/0!	
(特記事項) ・本年度で8年連続、年間入館者数10万人を達成し、さらに開館以来歴代2位の入館者数を記録した。 ・季節に応じた特別イベントを開催した。(「上越科学館館長によるサイエンスショーとスライム工作」等)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務		・再入館許可制度を導入した。 ・市発注や職員製作の展示物を導入し更新を実施した。 【新規展示物】4点 Wi-Fiリモコンカー、アマチュア無線受信装置 フューチャーつみき、変身！魔法の鏡 【備品】2点 展示物用パソコン、立体上映用パソコン				
	自主事業	・特別イベント ・にんじやくんの手作りおもちゃ（日替わり工作） ・もの作り はじめの一步 ・大人の体験教室 ・わくわくカガクあそび ・チャレンジ工作・プレミアム工作 ・サイエンスショー ・映画上映 ・アウトリーチ事業 ・ミニミュージアムショップの設置		【追加事業】 ・天文ソフト「Mitaka」常設上映 ・自動運転で動く車のしくみプログラミング教室 ・カプセルトイの設置				
サービス維持・向上の取組み（広報等）	・再入館許可制度や新規展示物を導入した際には、ホームページを活用して、情報発信した。 ・マスコミによる取材や番組出演等を積極的に受けた。 ・ブログを運用し、より最新の情報を発信できるようにした。 ・自主事業の情報は、広報ながの、週刊長野、子育て情報誌等を活用し、お知らせを随時掲載した。							

4

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	・館内アンケートボックス、教室参加者向けのアンケート、特別企画の参加者向けアンケート、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・利用者満足度調査（外部モニタリング）を実施し、外部専門機関に調査分析を委託し実施 調査対象：来場者無作為に配布 回答者：362人 調査方法：施設での回収 調査期間：平成30年10月1日（月）～10月31日（水） 31日間		
	(3) 調査、会議等の結果	・属性 利用頻度 月に複数回10.0%、月1回程度15.5%、2ヶ月に1回程度15.5%、半年に1回程度27.8%、年に1回程度10.4%、それ以下20.7%（以下、無回答除く） 居住地 近隣地区（城山・城東・湯谷・加茂地区）在住：9.3%、長野市内在住52.0%、長野市外在住：29.8%、長野県外：9.0% ・各項目における「満足」「やや満足」と回答した利用者の満足度を見てみると、スタッフについては95.0%、イベントの内容については90.9%、総合的な評価としては91.7%の満足度を得られた。また、施設利用を友人や知人にお勧めしたいかという問いに対して、「推奨者」とされる9～10点満点を付けた回答者が35.0%と非常に高い推奨意向が示された。		
	(1) 良好とする評価	・久しぶりに来ましたが、あらゆる所がリニューアルされていて良かった。 ・まだ文字を理解できない幼児でも興味を持てるような展示が多々あって楽しかったです。 ・科学センターには色々な楽しいことがあります、やっぱり最近やってくださる創意工夫に満ちた実験、科学あそび、工作が一番です。小さい子供でも夢中で見たり、やったりしたこと、空気の振動とか静電気とか…きちんと聞いて理解しています。楽しい好奇心が満たされるから何度でも来たがります。今まで通りにさらに多くの体験型イベントがあったら嬉しいです。 ・サイエンスショーは大人が見てもなるほど～と思うことが多く、自然の不思議さを感じられる素晴らしいものでした。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	・故障展示物の復旧、新規展示物の導入、展示装置の更新 等（26件） ・トイレの更新（5件） ・駐車場への要望（12件）		
	《対応措置》	・展示物が故障した場合は、職員・業者により迅速に修理、または職員により代替展示物を内製した。		

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 11,280,000 指定管理料 31,576,000 委託料 販売収入等 その他収入	11,280,000 31,576,000 330,185	利用料金 11,955,950 指定管理料 31,576,000 委託料 販売収入等 その他収入	11,955,950 31,576,000 330,185	歳入	使用料 69,576 雑（納付金） 行政財産 目的外使用料 33,998 貸付料 585,778 その他	69,576 33,998 585,778	
計	42,856,000	計	43,862,135	計	689,352	計	887,334		
支出	人件費 23,848,280 設備管理費 5,695,840 備品購入費 590,000 修繕費 1,130,000 光熱水費 6,648,480 事業費 2,420,000 事務経費 1,323,400 本社経費 1,200,000 その他	23,848,280 5,695,840 590,000 1,130,000 6,648,480 2,420,000 1,323,400 1,200,000	人件費 23,623,971 設備管理費 5,961,520 備品購入費 524,094 修繕費 748,793 光熱水費 7,018,410 事業費 2,298,773 事務経費 1,074,764 本社経費 1,200,000 その他	23,623,971 5,961,520 524,094 748,793 7,018,410 2,298,773 1,074,764 1,200,000	歳出	指定管理料 31,576,000 委託料 1,549,800 需用費 役務費 使用料・賃借料 1,863,528 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	31,576,000 1,549,800 1,863,528	指定管理料 31,606,000 委託料 1,247,400 需用費 127,461 役務費 使用料・賃借料 1,819,788 修繕費 工事請負費 15,628,680 備品購入費 591,840 その他	31,606,000 1,247,400 127,461 1,819,788 15,628,680 591,840
計	42,856,000	計	42,450,325	計	34,989,328	計	51,021,169		
自主事業	収入 2,938,400 支出 2,938,400 自主事業損益 0	収入 1,914,115 支出 1,498,585 自主事業損益 415,530	収入 1,914,115 支出 1,498,585 自主事業損益 415,530	収入 1,914,115 支出 1,498,585 自主事業損益 415,530	差引	-34,299,976	-50,133,835		
損益	0	1,827,340	1,827,340	1,827,340	差引	-34,299,976	-50,133,835		
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								55.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名(常勤)、館長補佐1名(常勤)、指導スタッフ4名(常勤)、受付事務スタッフ3名(常勤1名、非常勤2名)、施設管理スタッフ1名(非常勤) 計10名(地元雇用:10名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自主事業プログラムの開催 ・地元雇用の推進 ・地元事業者からの物品購入 ・アウトリーチ事業の推進 ・職場体験（地域活動学習）の受入 ・学生ボランティアの受入 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み（9・11・3月の3回開催） ・館外サイエンスカフェ「光のゆらめきを手作り実験で再現しよう～カゲロウとシンキロウ～」の開催（11月） ・上越科学館 永井館長による「サイエンスショーとスライム工作」の開催（11月） </td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自主事業プログラムの開催 ・地元雇用の推進 ・地元事業者からの物品購入 ・アウトリーチ事業の推進 ・職場体験（地域活動学習）の受入 ・学生ボランティアの受入
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した自主事業プログラムの開催 ・地元雇用の推進 ・地元事業者からの物品購入 ・アウトリーチ事業の推進 ・職場体験（地域活動学習）の受入 ・学生ボランティアの受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み（9・11・3月の3回開催） ・館外サイエンスカフェ「光のゆらめきを手作り実験で再現しよう～カゲロウとシンキロウ～」の開催（11月） ・上越科学館 永井館長による「サイエンスショーとスライム工作」の開催（11月） 			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			64

評価理由 「2 施設の有効活用」の「施設利用状況」を見ると、幼児や児童を連れた家族での入館者が高水準を維持する傾向にあることから、幼児と保護者の親子向け事業の充実に努め、全体で対前年比、101.0%を維持した。結果として、平成23年度から8年連続で入館者10万人を超え、歴代2位の入館者数であった。また、利用者からの要望が多い展示物のリニューアルについて、予算が限られる中、職員の内製や地域団体・企業に協力を得ることで新しい展示物を導入したことから「施設の有効活用」を「4」とした。

取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
	<p>①幼児や児童を連れた家族の入館者数が大多数であるが、科学や工作への興味を育むために今後も引き続き、幼児・児童向けの科学等に関する事業の充実に努める。</p> <p>②学校・企業等との連携・協力による展示物の更新や工作教室の開催に努め、中・高生の利用者増に向けた魅力ある施設運営に取り組む。</p>	<p>①団体見学時にサイエンスショーや工作教室なども併せて行うことで、より知識を深められるよう工夫した。</p> <p>②プログラム体験教材導入など企業・団体と連携し、中高生向け展示物の導入に努めた。</p>	
次年度の目標・取組み等（施設所管課）	<p>①多くの小中学生・高校生に興味を持ってもらえるようなイベント開催や展示の工夫をする。</p> <p>②故障中の展示物修理や展示物の更新に努める。</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・引き続き再入館許可制度を導入し、城山公園の一体的な利用促進を図った。
- ・特別イベントにおける新テーマの立ち上げや外部連携事業の開催に重点を置いた。その結果、新企画6事業、外部連携4事業（企業1社、3団体）を実施することができた。
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、冒険広場や幼児の広場の備品整備に取り組んだ。
- ・アウトリーチ事業（出前サイエンスショー・出前実験工作教室）を4回、団体向け教室を12回実施した。
- ・積極的な広報活動（チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ・ブログ更新）により、施設の認知度向上に努めた。
- ・利用者満足度調査の実施によるニーズの把握と反映に努めた。
- ・休館日の削減（第3金曜日、GW・夏・春期休業期間中の月曜日、1月2日～3日の年始閉館）を実施した。
- ・地域出身の講師による講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・関係団体、企業と連携し、イベントを開催した。
- ・スタンプカードの運用により、リピーターが増加している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ、広報物等の内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・展示物の製作や修理、設備修繕を内製化し、再委託を極力抑えた。

③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」「多子世帯応援プレミアムパスポート」に協賛し、ミュージアムショップの割引（8%）を実施した。
- ・地域活動学習（3校、計10名）の受入れを実施した。
- ・長野市家庭・地域学びの課主催の「親子わくわくフェスタintイゴ」に協力し、サイエンスショーを実施した。
- ・長野県が実施するエコプログラムに参加し、環境に配慮しつつ認知度やサービスの向上を図った。
- ・近隣地区活動として、年2回、側溝清掃・草取り・ゴミ拾いに参加した。
- ・冒険広場内ボールプールと遊具・幼児の広場の消毒作業を毎週1回行い、衛生面を保つよう努めた。
- ・当社指定管理者施設の責任者会議に館長が出席し、他施設の事例発表や指定管理業務に関するディスカッションを通して、幅広く情報交換を行った。（年2回）
- ・職員の昇給や賞与支給により、職員満足度の向上を図るとともに、意欲の向上と人材確保につなげた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設設備・展示装置の修繕・入れ替えに関する利用者からの要望が多い。
- ・中学生以上の来館者に対する自主事業参加の促進が課題である。
- ・乳幼児用設備（授乳室など）の充実。
- ・指導員のさらなる知識の深化と企画・演示力の向上（外部研修の受講）

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【D】計画や目標を下回る

- 【B】計画や目標を上回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

【C】計画や目標どおり

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

利用者より一番要望の多い展示物のリニューアルについて、業者に依頼した場合は多額の予算が必要なことから、ここ数年更新が進んでいなかったが、内製化および地域団体・企業に協力を求め平成30年度は4点をほぼ無償で導入することが出来た。

・内製

①Wi-Fiリモコンカー

・団体協力

①アマチュア無線受信装置と放送局体験装置（アマチュア無線クラブ）

・企業協力

①フューチャーつみき（㈱アソビズム）

②変身！魔法の鏡（㈱アソビズム）

② 次年度以降の取組み

年間入館者数10万人を一つの目標とし、下記の取組みをはじめとした施設の求心性を高める事業展開に努める。

- ・地域学校・企業・市内他施設との連携強化、協働事業の開催
- ・施設内での事業を充実させるための事業整理
- ・指導員業務と受付業務の相互補完体制をさらに強化すべく、双方の研修を実施
- ・展示物の内製
- ・ゆめの劇場 立体映画ソフトの質上げ
- ・ボランティアの育成
- ・トイレの更新（洋式化、温水・暖房便座）
- ・ホームページのリニューアル